

山行報告書

報告書作成

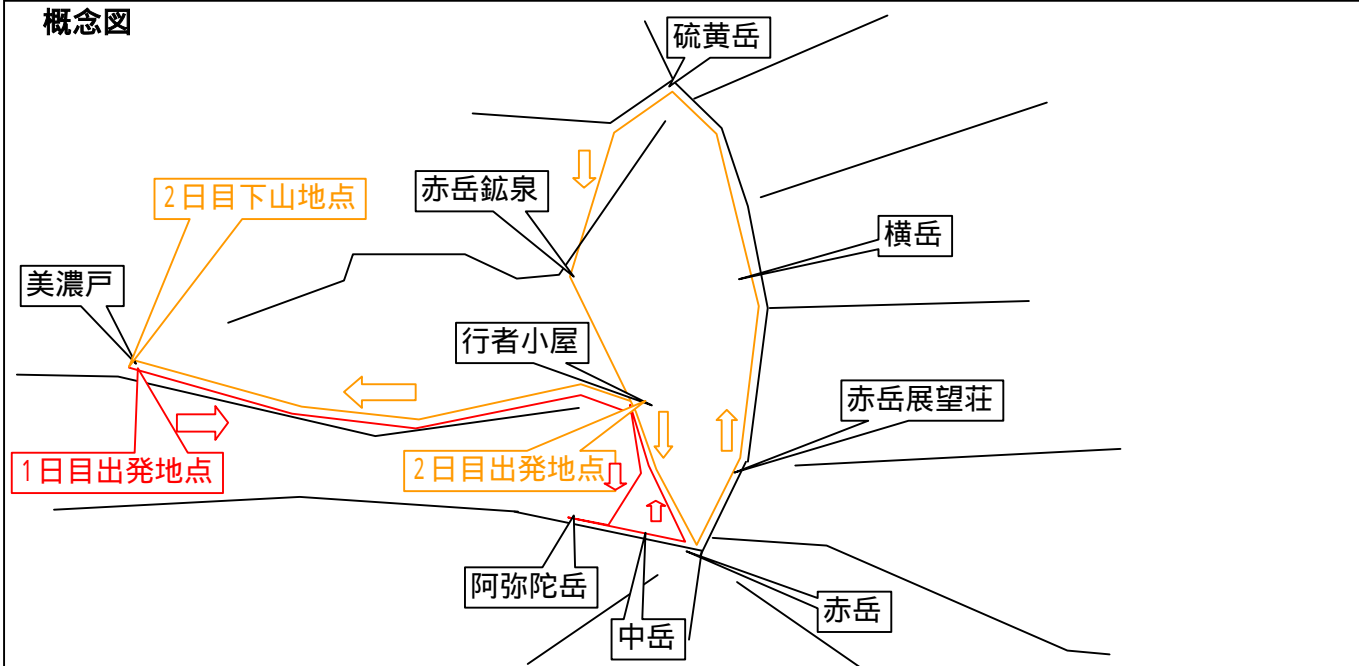
2008年8月31日

山名 [山域]	阿弥陀岳・赤岳・横岳・硫黄岳	目的と方法	夏山合宿
登山期間	2008年8月1日(金)～8月3日(日)	山行形態	テント泊・ピストンと周回
参加人数	3人		

行動記録

加藤邸10:00 = = = 02:00美濃戸7:22 --- 7:54休08:12 --- 09:01休09:10 --- 10:02休10:14 --- 10:20行者小屋
 10:52 --- 11:00分岐 --- 11:37休11:50 --- 12:14阿弥陀岳山頂12:55 --- 分岐13:17 --- 中岳13:30 --- 13:55分
 岐14:02 --- 14:35分岐 --- 14:40行者小屋04:36 --- 分岐04:48 --- 05:24休05:26 --- 05:52分岐06:00 --- 06:
 35赤岳山頂 --- 06:36赤岳頂上山荘06:57 --- 07:30展望荘07:35 --- 08:23休08:37 --- 09:00横岳山頂09:07 -
 --- 09:50硫黄岳山荘10:25 --- 10:47硫黄岳山頂10:52 --- 分岐11:07 --- 12:05赤岳鉱泉12:30 --- 13:03行者
 小屋13:34 --- 14:20休14:25 --- 15:13休15:20 --- 16:00美濃戸16:15 = = = 16:35もみの湯17:47 = = = 22:
 00加藤邸

概念図



日誌

前夜10時出発し、美濃戸口から美濃戸まではラフロードを走り、美濃戸のパーキングにてテント泊をするが石で背中痛いわ、2時間程寝た4時30分に不意に起され、車両を止めるため、テントを移動してほしいと言われるなどで、睡眠不足の中7:22に出発、川沿いを歩き10:20行者小屋到着、さっそくテント場に行くも良い場所はすでにテントが張られており、石がゴロゴロした所しか空いておらず、テントをそこに張りサブパックに荷物を移し10:52分発阿弥陀岳までは日差しが強く風も無い為、いきり暑く汗が出たが阿弥陀岳頂上は風もあり比較的過ごし易く、食事をして中岳を目指し分岐点まで下り、そこから軽く上り途中低木に囲まれた細い道を歩き中岳至る。そして赤岳山頂まですぐそこの感じの、赤岳中腹の分岐点で、行者小屋方向に下り途中にあるラス鋼で出来た階段のおかげ、で足首や膝に負担をかかりながらも、14:40に行者小屋到着そこで別パーティの皆と合流し急に賑やかになり、合宿の風情が出てくる。晩御飯はうなぎの蒲焼に高野豆腐の卵スープと酢の物、しっかり食べ。翌朝4:36分まだ暗い中赤岳へ向かう前日は3人だったが、野島さんのパーティと合流し8人になりにぎやかに登る、岩場の起伏にとんだ所を越え、今まで日陰ばかり涼しく快適なだったが強烈な太陽光が当たるようになりその中を進み赤岳山頂に着く、雄大な展望を楽しみつつ延々と降り時折強い横風に煽られながら展望荘に、風力発電の風車がいきよよく回り風の強さを物語るようだ、そして横岳北端台座ノ頭付近にコマクサの群落がありピンクの絨毯を敷いたようで皆写真撮影に夢中に、硫黄岳山荘のトイレは綺麗な水洗トイレで他のWCと同じ金額は良心的だ、電線用リールドラムのテーブルを囲み休憩を取る、硫黄岳山頂から爆裂火口を見て赤岳鉱泉へ向け下山とちゅうから樹林帯に入ったため日差しは無いが風があまり吹かなくなった、赤岳鉱泉で昼食を取り行者小屋に戻りテントをたたみ美濃戸へ下山する。